

1 目指す学校像

- (1) 教育目標 豊かな“心・学び・未来”
 合言葉 『みんな 笑顔で 分かち合う』
 《目指す児童生徒像》
- ・自分の病状を理解し、自己調整できる人 【自分の身体を知る・自己理解】
 - ・自他の良さに気付き、自信がもてる人 【主体的な表出や行動・自他の良さへの気づき】
 - ・周囲の人や物と関わり、心豊かに生きようとする人 【関わる力・助けを求める力】
- (2) 目標具現化の柱
- ア 《守る》児童生徒の命を守り、心の居場所として安心して学べる学校
 - イ 《育む》児童生徒の心理的安全性や確かな成長を支え、病状や特性に応じた授業ができる学校
 - ウ 《つなげる》保護者・天竜病院・天竜厚生会・地域・原籍校・関係機関との連携を深め、センター的機能を発揮し、協働して支援する学校
 - エ 《チーム》教職員が笑顔で支えあい、チームを大切にし、主体的に学校づくりに参画する働きやすい学校

2 本年度の取組(重点目標はゴシック体で記載)

- (1) 《守る》児童生徒の命を守り、心の居場所として安心して学べる学校

取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
守 る	実際的な危機管理体制を構築し、様々な緊急時への対応力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な訓練や研修を通して危機管理マニュアルを見直し、緊急時の判断力の育成 ・児童生徒・職員は、緊急時（非常災害訓練等）に自分で考え判断し、命を守る行動することができたと答える児童生徒 90% 教職員 100% 	危機管理課 生徒指導課 各学部
		<ul style="list-style-type: none"> ・学校安全計画、学校保健計画に基づいた防災安全・保健教育の実施 ・児童生徒の安全・安心を守っていると答える教職員 100% 	
	多様性を認め、自他を尊重し合い高い人権意識を持った児童生徒と教職員	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修や人権月間の充実 ・児童生徒が自他の良さに気付ける自立活動や道徳教育等の充実 ・人間関係づくりの授業や研修の充実 ・いじめの予防的取り組みと組織的対応の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒間でお互いを理解したりの良いところを認めたりする言動が増えたと答える教職員 80% ・児童生徒の模範となり常に人権を守る言動を心がけている教職員 100% ・児童生徒の人間関係や学習上・生活上の困り感の把握に努め、早期に対応したと答える教職員 100%

- (2) 《育む》児童生徒の心理的安全性や確かな成長を支え、病状や特性に応じた授業ができる学校

取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署	
育 む	児童生徒が安心して学べる学校風土の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・個々のニーズに応じた多様な学び場の確保 ・学校生活や授業の満足度のアンケートによる見える化 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校（教室）が安心して過ごせると答える児童生徒 90% 安心して過ごせる環境を整えていると答える教員 100% 	各学部 企画会 生徒指導課
	本に親しみ、本を活かす児童生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・教科における読書活動の連携や読み聞かせ活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科や学校生活で本（図書室）を活用できたと答える教員 80% 	

育 む	OJT による学 校力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアステージに対応した OJT 研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアステージごとの資質能力が向上したと答える教職員 80% 	企画会 各学部
	I C T 機器等 を効果的に活 用した授業実 践を展開	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の特性に応じた、興味関心や理解を深める ICT の活用方法の研修を実施する。 ・病院や原籍校、家庭と学習や復帰支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器やデジタル教材を効果的に活用し、児童生徒の味関心や理解が深まったと評価する教員 80% ・病院や原籍校及び家庭と連携が深まったと答える教職員 80% 	各学部 教務課 自立活動課 情報課 事務部
	病弱教育の専 門性の向上を 図り、その専門 性に基づく効 果的な実践	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一授業研究及び研修会・学習会を実施 ・学部、学年会・教科会で授業の振り返りの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・個の実態・課題を捉えた「個別最適な学び」の授業を実践することができた教職員 100% ・仲間（集団）で取り組む良さを生かした「協働的な学び」の授業を実践することができた教職員 100% 	研修課 各学部 各教科
		<ul style="list-style-type: none"> ・作成した流れ図と個別の指導計画とのつながりを明確にした自立活動の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・流れ図をもとに適切な目標と指導内容を設定し、個別の指導計画の目標を達成できたと答える教職員 100% 	自立活動課 教務課

(3) 《つなげる》保護者・天竜病院・天竜厚生会・地域・原籍校・関係機関との連携を深め、センター的機能を発揮し、協働して支援する学校

取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
つ な げ る	みゅうの丘や 地域・他機関と の連携により、 協同学習を充 実	<ul style="list-style-type: none"> ・みゅうの丘や地域・外部機関の人材を活用した授業や地域や交流校と共に取り組む活動を実践できたと答える教職員 100% ・学校の教育活動を知ることができたと答える保護者・外部機関等関係者の評価 80% 	各学部 進路連携課 情報課 みゅうの丘 事務局 教科等部会
	個別の教育支 援計画に基づ いた連携体制 を確立	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の教育支援計画に基づき、原籍校や他機関、保護者と連携、協働する支援の実施 ・授業公開や自立活動研修の原籍校へ発信 ・キャリアパスポートを有効活用したキャリア教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の教育支援計画を基に、原籍校や他機関、保護者と協働して支援できた教職員 100% ・児童生徒がなりたい自分をイメージし、主体的に進路を決定したり、身近な将来の目標を考えたりする授業実践ができた教職員 100%

(4) 《チーム》教職員が笑顔で支えあい、チームを大切にし、主体的に学校づくりに参画する働きやすい学校

取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署	
チ ー ム	「チーム天特」 による全員参 加の業務遂行 と教育環境整 備	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や実態に合った活動計画の見直し。 ・掲示板や文書共有、チャットを活用し、事務室との連携の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・予算立案・執行や施設管理等事務室と密なやり取りし、協働連携ができたと答える教職員 100% 	企画会 事務部 各学部 各分掌
	<ul style="list-style-type: none"> ・時間設定による会議の実施、資料の事前配付等による業務の効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な会議の運営や効率的な会議へ参加し、時間外の月平均 30 時間程度の教職員 90% 		

